

お知らせ

平成28年10月4日
東北電力(株)

能代火力発電所2号機 定期事業者検査の終了について

当社能代火力発電所2号機(秋田県能代市、定格出力60万kW)につきましては、6月21日より9月8日までの予定で定期事業者検査を実施しておりましたが、ボイラー内を通る配管^{※1}に減肉^{※2}が確認されたことから、修理のため、定期事業者検査期間を当初予定より3週間程度延長することとしておりました。

(8月23日お知らせ済)

その後、減肉が確認された配管の補修作業を行い、本日、定期事業者検査が終了し、17時00分に営業運転を再開いたしました。

当社といたしましては、今後も安全を最優先に、発電所の安定運転に万全を期してまいります。

以上

※1 蒸気タービンを回すための蒸気を発生させるボイラー内にある配管のこと

※2 ボイラーの燃焼で発生した石炭灰が配管に当たることで、摩耗により、配管の肉厚(厚さ)が薄くなること

【能代火力発電所の概要】

○所在地：秋田県能代市字大森山1-6

号機	出力	燃料	運転開始
1号機	60万kW	石炭	平成5年5月
2号機	60万kW	石炭	平成6年12月

別紙 能代火力発電所2号機概略図